



藤谷 謹至 議員
(拓政会)

問

国は、平成25年度から平成34年度までの「健康日本21」を策定し、基本的な方向の第一の柱に、健康寿命の延伸と健康格差の縮小を掲げている。本町においては、「第2期まくべつ健康21」を策定し、「健康寿命の延伸」を目標に掲げ、健康づくり運動について取り組んでいるところであるが、健康寿命延伸に向けての現状と今後の取組について伺う。

- (1)平成29年度の特定健診受診率の目標を60%としているが、現在の各種検診受診率と、本町の健康寿命についての考えは。
- (2)北海道健康マイレージ事業の登録状況は。
- (3)幕別町が行っている介護予防ポイント制度の登録状況と利用実態。今後における町独自の健康ポイント制度の導入の考えは。
- (4)各種健康講座の参加実績と参加率向上のための取組について。
- (5)ロコモティブシンドローム（運動器症候群）の認知度向上への取組と健康寿命を延伸するための環境整備について。

問

幕別町における健康寿命を延伸するための方策は

答

生活習慣病の発症予防と重症化予防に重点を置き、各種事業、施策に取り組んでいる

※「ロコモティブシンドローム」とは加齢に伴う運動器の機能が衰えて、要介護になるリスクが高い状態。

町長(1)月末までの受診率では、

国民健康保険被保険者を対象とする特定健診は19・5%、後期高齢者健診は9・8%であり、前年同期と比較して増加しており、前年度のそれぞれの受診率27・7%、14・7%を上回る見通しである。

また、胃がん検診は9・9%、肺がん検診は12・2%、大腸がん検診は13・4%、乳がん検診は15・3%、子宮がん検診は17・4%であり、いずれの検診も前年を上回る見通しである。

本町では、ライフステージに合わせた健康づくりの目標と、基本的な生活習慣に沿った取組を示した計画である「第2期まくべつ健康21」を着実に推進し、健康寿命が延伸できるよう努めていきたい。(2)11月に広報紙で参加者の募集を始めたところであり、11月末現在の登録者は30人である。

(3)11月末現在の登録状況は80人で、9月末までの上半期で、38人が延べ493回のボランティア活動を行っている。

町独自の健康ポイント制度については、来年4月からの事業実施に向けて、現在、事業内容等を検討しており、北海道健康マイレージ事業とあわせて、より一層の健康づくりに対する意識の醸成が図られる仕組みとしていきたい。

(4)平成27年度の参加実績は、ウォーキング等の運動講座を18回開催し、延べ274人が参加、料理教室等の健康づくりに関する座学講座を21回開催し、延べ183人が参加している。

また、託児を実施しているほか、夜間や土曜日に講座を開催するなど、参加者の環境やライフスタイルに応じた対応に努めている。(5)高齢者の運動器の機能向上を図るために「お達者サロン」「座つてできる体操教室」などの介護予防事業に取り組むなどしており、介護予防事業や健康講座等の充

実、さらには出前講座、職場等での健康教育を通じて地域、社会全体で健康増進につながる環境づくりに取り組んでいきたい。

再質問 介護予防ポイント制度の利用者は増加していないが、今後の考えと新たなポイント制度導入の考えは。

答 活動場所を介護施設に限らず地域に向けてのことを研究していく。町民の方が健康に意識を持って参加できるよう、内部で詰めていきたい。

◆北海道健康マイレージ

道が、道民の健康診断やがん検診などの受診率の向上、健康に配慮した生活習慣を身に着けるきっかけづくりを目的として、市町村・協賛企業と協働で行う事業です。町が実施する健康づくり事業をポイント化し、参加者が検(健)診や健康講座に参加して6ポイントを集めると、抽選で協賛企業から特典が当たります。



◆幕別町介護予防ポイント制度

介護予防事業の一つとして、高齢者の皆さんがボランティア活動を通して、地域貢献や社会参加をすることで、より元気になることを目的としています。町内の介護施設などでボランティア活動を行い、1時間の活動ごとに1ポイントを付与します。年間ポイントを限度に、1ポイント100円として交付金が交付されます。